

各分野の目標達成状況＜V 経営、企画分野＞

柱 1 地域協働の推進

◆主な取り組み

〔個別目標①〕市民が地域社会の担い手になっている

（市民）

- ・地域活動や市民活動に地域情報を積極的に活用しました。
- ・地縁団体の設立に積極的に協力し、区有財産の管理など安定的・活発な自治会運営を行いました。

（市役所）

- ・「NPO・ボランティアガイド」を更新して各団体を紹介するとともに、市民・協働ステーションで情報チラシを置くことにより、ボランティア、NPOなどの参画・協働が必要な分野、業務の情報提供に努めました。
- ・区・町内会が進んで地縁団体の設立ができるよう相談体制を充実するとともに、区からの相談に対応し、必要な情報を提供しました。
- ・アダプト制度の啓発やアダプト団体の活動紹介などの情報提供や、団体の懇談会を開催することにより、アダプト活動の充実に努めましたが、アダプト制度の登録者は減ってしまいました。

〔個別目標②〕地域内の情報を共有し、市政に理解と関心を深めている

（市民）

- ・ホームページにアクセスすることにより、ボランティア団体、NPOの活動内容などの地域情報を共有しました。
- ・市政に対して関心をもつとともに、要望や提案などの意見を述べました。

（市役所）

- ・見やすくわかりやすいホームページの作成に努めました。
- ・「市長への手紙」やEメールによる市民の要望や提案等に回答し、市民の市政への理解を深めるとともに、市民ニーズの把握や事務改善の参考としました。

◆主な成果

- ・NPO・ボランティア団体数について、少しずつではあるが着実に増加していること。

◆主な今後の課題

- ・公募型協働支援補助事業の採択数を伸ばすため、事業のPR方法や活動団体間の連携について考慮する必要があること。
- ・平成23年4月1日に施行した江南市市民自治によるまちづくり基本条例の啓発及び推進並びに関連条例の研究の必要があること。

柱 2 戦略的な行政経営の推進

◆主な取り組み

【個別目標①】市役所の簡素化・効率化が図られ、市民ニーズに込えている

(市民)

- ・(仮称)江南市市民自治によるまちづくり基本条例(素案)に対してのパブリックコメントで76件の意見を提出しました。
- ・市内10小学校区で開催された「江南市戦略計画に関する住民説明会」に参加し、計画の見直しの内容に対する意見や質問をしました。
- ・まちづくり会議でまちづくり評価を実施し、まちづくりの進行状況を明らかにした「江南市戦略計画達成状況報告書」を作成しました。
- ・尾張北部広域行政圏協議会主催の文化財めぐり、親善体育大会に参加しました。

(市役所)

- ・市役所全体のサービスの底上げを図り、市民の皆様の満足度の向上を目指すため、江南市職員としての信条や志を掲げたクレドカードを作成しました。
- ・意思決定のスピードアップ、組織の生産力の向上、多様化するニーズ・変化するニーズに対応した業務執行体制、複数の職員での協業体制を、課長の裁量で、柔軟かつ適時にとることができるようにしたグループ制を平成20年より導入しましたが、そのメリットを組織全体に浸透させることができませんでした。
- ・住民説明会及びパブリックコメントなど市民の意見を聞く場を設け、地域住民との情報共有を図りました。
- ・各事業の共同化など、広域的に実施することが適切・効果的なものについて、近隣市町と広域化を図るなど、事務の効率化を図りました。

【個別目標②】計画的で健全な財政運営が行われている

(市民)

- ・市の財政状況の理解が高まるよう市長への手紙などにより15件の意見を提出しました。

(市役所)

- ・予算の枠配分を行い、各課が事業の選択と集中により事業を展開する意識を持つよう努めました。
- ・市の保有する施設の維持管理に必要な経費を配分しました。
- ・市債残高を抑制するため、市債の発行基準を示し、実質公債費比率の目標値を下回るよう努めました。
- ・健全な財政運営をするため、歳出削減及び歳入の確保に努めましたが、財政力指数の向上につながりませんでした。

〔個別目標③〕職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員が育っている

（市民）

- ・市民調査や窓口利用者アンケート調査、市長への手紙等により、職員の資質・対応について意見を提出しました。

（市役所）

- ・人材育成基本方針に基づき、多種多様な研修を実施し、職員の能力開発を図りましたが、実施年度の研修メニューによっては、受講者数に大きな差を生じました。
- ・通信教育や各種資格取得などによる自己啓発を行い、資質の向上に努める職員の割合が増えてきました。
- ・適材適所の職員配置に努め、人材活用と組織力の向上を図りました。
- ・人事考課制度を有効に活用することで、成果目標を意識して仕事に取り組むという職員の意識改革や効果的な人材育成に努めました。
- ・行財政構造改革「集中改革プラン」を計画的に推進し、平成 17 年度から平成 21 年度までの 5 年間で 110 人の職員削減を達成しました。

◆主な成果

- ・行財政構造改革「集中改革プラン」により、大きな経費削減と職員の削減ができたこと。
- ・江南市戦略計画に基づく新しい行政経営を行うことにより、的確なマネジメントを行うしくみが構築できたこと。
- ・予算の枠配分を行い、限られた経営資源の中で、選択と集中により効果的で効率的な施策を実施できたこと。

◆主な今後の課題

- ・スリム化した市役所が市民によりよいサービスを提供できるよう、これまでの経費削減型の行政改革から、経営の質を高める行政改革にシフトしていく必要があること。
- ・グループ制のメリットを生かすことができるよう、グループ制の運用方法や時間外勤務を減らすことができるような協業体制の促進に対する理解を深めるため、説明会や研修の充実を図る必要があること。
- ・健全な財政運営を推進するため、今後も歳出削減と歳入確保に努め、国県に頼らない自立可能な行財政基盤の確立を図る必要があること。

柱 3 公平かつ適正な課税・収納

◆主な取り組み

【個別目標①】市民は、公平かつ適正な課税がされていると感じている

(市民)

- ・税に関する申告を行いました。
- ・自らの納税通知書の課税内容を確認しました。

(市役所)

- ・課税客体の的確な把握に努め、公平かつ適正な課税を行いました。
- ・税に関する証明書を正確・迅速に発行しました。
- ・市県民税等の賦課において、データの転記誤り等があり、「返戻納付書の件数」について目標に達することができませんでした。

【個別目標②】公平かつ適正な税負担を感じ、自主的に納税を行っている

(市民)

- ・市民は税の目的やしくみを理解し、期限内に自主納税しました。

(市役所)

- ・納税者の利便を図るため、休日でも納税相談や納付できる日曜市役所を実施しました。
- ・滞納管理システムの活用により、徴収事務の効率化を図り、滞納整理を強化しました。
- ・口座振替制度を推進するとともに、コンビニ収納をPRし、収納率の向上を図りました。

◆主な成果

- ・市税について、コンビニ収納を導入したことにより、市民の納付機会の拡大を図ることができたこと。

◆主な今後の課題

- ・納税意識向上のための市民への啓発、及び滞納処分の手法の調査・研究などにより、収納率向上を図る必要があること。

柱4 効率的かつ円滑な事務管理の推進（総務課）

◆主な取り組み

【個別目標①】 効率的かつ円滑に業務が実施され、わかりやすい情報の提供により開かれた市政が行われている

（市 民）

- ・ 情報公開請求を行いました。
- ・ 個人情報適切に行われているか監視しました。
- ・ インターネットを活用して電子申請・届出や施設予約などを行いました。

（市役所）

- ・ 積極的に情報公開制度の普及に努めるとともに市民に情報の提供を図りました。
- ・ 情報セキュリティ対策、個人情報保護の徹底を図りました。

【個別目標②】 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている

（市 民）

- ・ 地域で有効利用できる土地（普通財産）について、行政を窓口として、地元管理で分別ごみ集積場所として有効利用しました。

（市役所）

- ・ 未利用地について、売却できるよう努めましたが、売却できた未利用地はありませんでした。

【個別目標③】 各種行政委員会の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている

（市 民）

- ・ 政治（行政）に関心を持ち、選挙に参加しました。

（市役所）

- ・ 各種行政委員会の事務局と連携し、適切な事務を行いました。

◆主な成果

- ・ 情報公開制度、個人情報保護制度について、効率的かつ円滑に業務が実施されたこと。

◆主な今後の課題

- ・ 行政に関心を持っていただけるよう、様々な機会を捉えて、啓発活動に努めること。

柱4 効率的かつ円滑な事務管理の推進（会計室）

◆主な取り組み

【個別目標②】資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている

（市 民）

（市役所）

- ・ 経済・市場動向を把握し、柔軟な対応をすることで、安全かつより有利な資産運用を図りました。
- ・ 適正な出納審査を行いました。

◆主な成果

◆主な今後の課題

柱4 効率的かつ円滑な事務管理の推進(監査委員事務局)

◆主な取り組み

【個別目標③】各種行政委員会の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている
(市民)

(市役所)

- ・ 監査委員からの意見等指摘件数が減少するように努めましたが、達成できませんでした。
- ・ 専門的知識を有する者を活用するなどして、監査の充実を図りました。

◆主な成果

◆主な今後の課題

- ・ 監査委員からの意見等指摘件数が減少するよう、指摘、指導の強化に努める必要があること。

柱5 より開かれた適切な議会運営への支援

◆主な取り組み

[全体目標]より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

(市民)

- ・議会活動に対して常に関心をもつように努めました。

(市役所)

- ・議会の議事運営が適切な手続きで行われるよう支援しました。
- ・議員活動に必要な情報の提供を行い、議員活動の充実が図られるよう支援しました。
- ・議会事務局の職員の専門性を高め、議会からの要請などに対する的確に対応できる体制づくりに努めました。
- ・ホームページなどを活用し、積極的に議会情報等を提供することにより、議会及び議員の活動に対する市民の関心を高めました。

◆主な成果

- ・市広報やインターネットを通じて議会に関する情報発信を積極的に行ったことにより、議会活動がわかりやすく説明されていると感じる市民の割合が大きく向上したこと。

◆主な今後の課題

- ・議会が、市民にとって身近な存在となり、誰にも透明で、わかりやすく、より開かれた議会の実現をめざす必要があること。